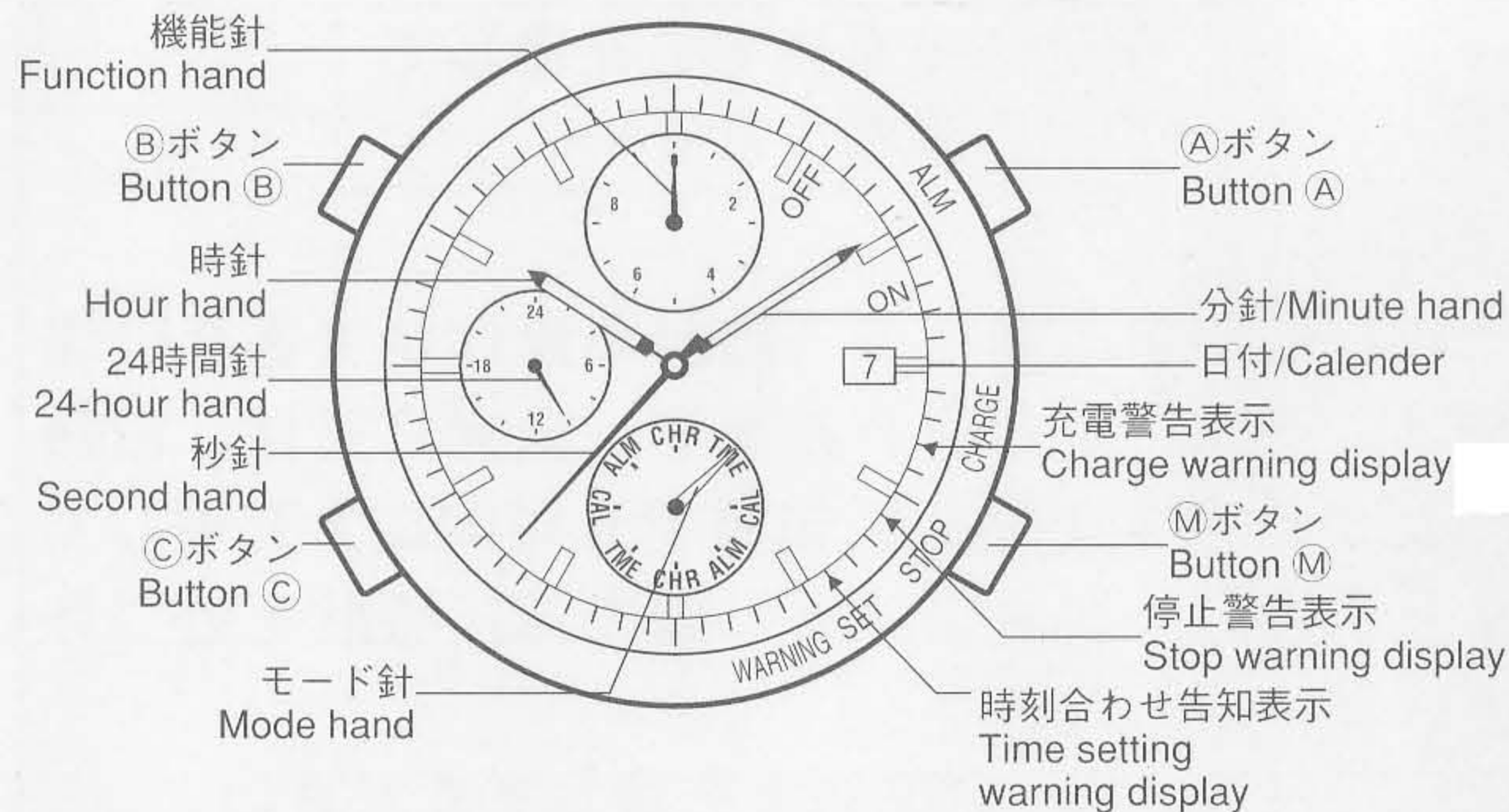




この取扱説明書は、上図を参照しながらお読みください。

When reading this instruction manual please keep the watch diagram folded out and in view.



注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

十分に光を当てて充電して
からご使用ください。

取扱い説明書に従って、時計の操作ができない場合は、充電不足と思われます。蛍光灯又は、白熱灯（30W）下約 20cm の位置で 6 時間以上充電してからご使用ください。その際光源に時計を近づけ過ぎないでください。

直射日光下では 1 時間以上充電してください。

■商品の特徴

この時計は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計の針やアラーム・クロノグラフ等の付加機能を作動させる光発電機能を搭載した多針アナログソーラーパワーウォッチです。

■ご使用になる前に

この時計には電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。

この二次電池は水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度フル充電すると約80日間〈アラーム音15秒／日、クロノグラフ計測60分／日使用した場合〉は充電しなくても時計は動き続けます。

〈この時計の上手な使い方〉

この時計に付加されているアラーム機能やクロノグラフ機能なども含め快適にご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。（過充電防止機能付き）

毎日充電を心がけてご使用されることをおすすめします。

目次

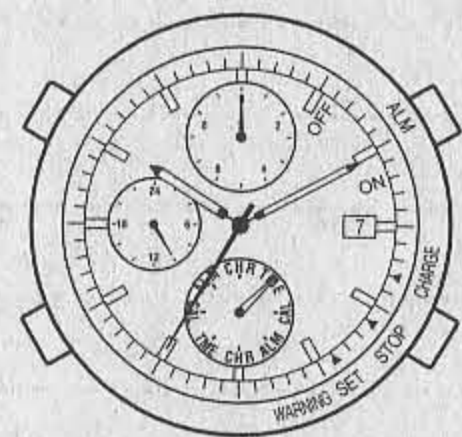
■商品の特徴	1
■ご使用になる前に	1
■ソーラーパワーウォッチ特有の機能について	4
充電警告機能	6
停止警告機能	6
時刻合わせ告知機能	7
過充電防止機能	7
■ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意	8
■ソーラーパワーウォッチ充電上の注意	9
■ソーラーパワーウォッチ充電時間の見方	10
■各部の名称	12
■表示切り替え	14
■時刻合わせ	16
■カレンダーの合わせ方	18
うるう年の修正方法	19

■アラームの使い方	20
アラーム時刻のセット	20
アラームのON/OFF切り替え	21
アラーム音モニター	21
■クロノグラフの使い方	22
クロノグラフ計測針の見方	22
クロノグラフ計測	23
■このような場合には	26
■各針の0位置確認と修正	29
■二次電池の交換について	31
■お取り扱いにあたって	32
■保証とアフターサービスについて	41
■シチズンサービスセンター所在地	43
■製品仕様	44

■ソーラーパワーウォッチ特有の機能について

この時計は充電不足になると以下のような警告機能が働いて表示が切り替わります。

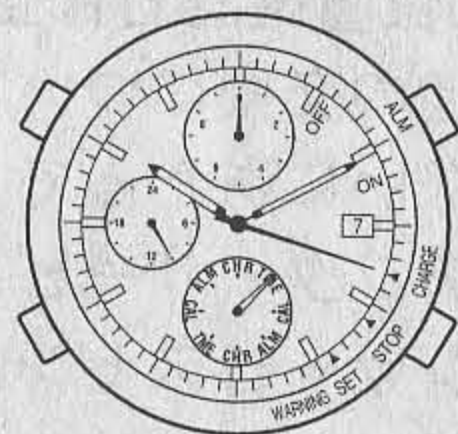
【通常時刻表示】



充電不足になると

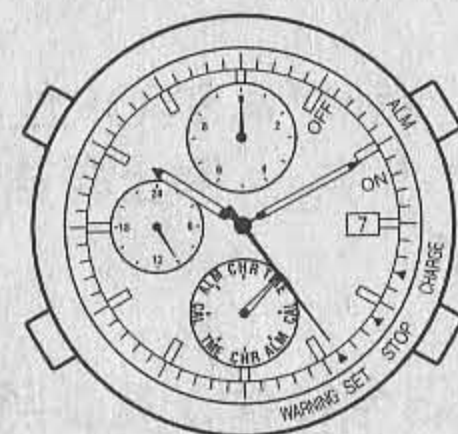
充電されてくると

【充電警告表示】



秒針がCHARGEを表示

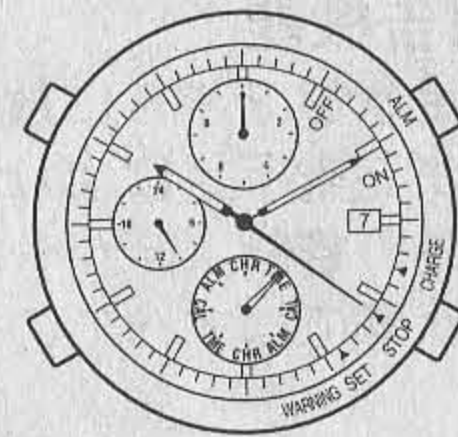
【時刻合わせ告知表示】



充電が
不十分だと

秒針がSETを表示

【停止警告表示】



秒針がSTOPを表示

充電不足を更に5日続けると

充電が充分されていて、時刻合わせをすると

充電警告機能

時計がどの表示をしていても充電不足になると時刻表示に切り替わり、秒針が▲CHARGE位置へ移動して充電不足であることを知らせます。(充電警告表示)

この時も時刻(時、分、24時間針)は正確に動いています。

*アラームはセットされていてもアラームは鳴りません。

*クロノグラフ計測中では計測を中止してリセットされます。

*プッシュボタンは機能しません。

(26ページの■このような場合には、を参照ください。)

停止警告機能

充電不足状態をさらに放置しておくと約5日後には秒針が▲STOP位置へ移動して時計が充電不足により停止していることを知らせます。(停止警告表示)

秒針以外の各針(時、分、24時間針)も停止します。

*この状態ではすべての機能が停止します。

(26ページの■このような場合には、を参照ください。)

時刻合わせ告知機能

1度停止した時計に再び光を当てて充電していくと秒針が▲SET位置に移動し時刻が正しくないことを知らせます。(時刻合わせ告知表示)

*時、分、24時間針は正しくないまま動きだします。

(26ページの■このような場合には、を参照ください。)

過充電防止機能

安心して充電ができます。

二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きます。

■ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意

〈時計は常に充電を心掛けてお使いください〉

日常長袖などを着用していると時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。

- ・時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 警告 指定電池以外は使わないでください

この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、むりに銀電池など他の種類の電池を使い万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は必ず指定の二次電池をご使用ください。

■ソーラーパワーウォッチ充電上の注意

⚠ 注意

- ・充電するときは時計が高温になると、故障の原因となりますので高温下（約60℃以上）での充電は避けてください。
例）白熱灯、ハロゲンランプなど高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
ダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
- ・白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないようにして充電してください。
- ・光の弱い場所でのフル充電は難しいのでご注意ください。

■ソーラーパワーウォッチ充電時間の見方

時計のモデル（文字板色など）によって充電時間が異なります。

あくまで目安としてご利用ください。

* 充電時間は連続照射時間です。

照度 (ルクス)	環 境	充電時間		
		止まり状態から1秒 運針までの時間	1日分の 充電時間	フル 充電時間
500	一般オフィス内	約28時間	約2時間30分	約220時間
1,000	蛍光灯(30W)の下 60～70cm	約13時間	約1時間	約105時間
3,000	蛍光灯(30W)の下 20cm	約4時間30分	約25分	約34時間
10,000	曇天	約1時間30分	約8分	約10時間
100,000	夏の日 直射日光下	約50分	約2分	約3時間

フル充電時間……時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間。

1日分の充電時間……1日動かすのに必要な時間

■各部の名称

巻頭の時計イラストを参照ください。

名 称	時刻表示	カレンダー表示	アラーム表示	クロノグラフ表示
モード針	TMEを表示	CALを表示	ALMを表示	CHRを表示
秒針	秒表示	月表示	アラーム ON/OFF表示	クロノ秒表示
分針	分表示	分表示	アラーム分針	時刻の分表示
時針	時表示	時表示	アラーム時針	時刻の時表示
24時間針	時針と連動して 24時間表示	時針と連動して 24時間表示	アラーム時針と 連動して 24時間表示	時針と連動して 24時間表示
機能針	常に0〈12時〉 位置	常に0〈12時〉 位置	常に0〈12時〉 位置	クロノ1/20秒 又は分を表示
日付	日表示	日表示	日表示	日表示

名 称	時刻表示	カレンダー表示	アラーム表示	クロノグラフ表示
Ⓜボタン	モード 切り替えと 時刻修正に使用	モード 切り替えと 月日修正に使用	モード 切り替えと 時刻修正に使用	モード 切り替え
Ⓐボタン	不使用	時計方向に 月を修正	アラームの ON/OFF 切り替え	クロノスタート/ ストップ
Ⓑボタン	時計方向に 時刻を修正	日を修正	時計方向に 時刻を修正	クロノ1/20秒 単位計測 読み取り
Ⓒボタン	反時計方向に 時刻を修正	不使用	反時計方向に 時刻を修正	クロノ スプリット/ リセット

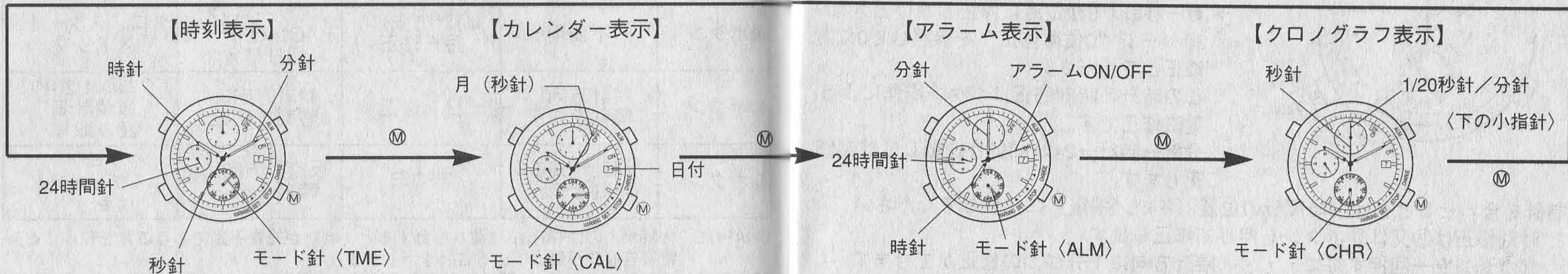
CHARGE: 秒針がこのCHARGE位置へ移動すると、時計が充電不足であることを知らせる充電警告機能が働いていることを示します。

STOP: 秒針がこのSTOP位置へ移動すると時計が充電不足により停止していることを知らせる停止警告機能が働いていることを示します。

SET: 秒針がこのSET位置に移動すると時刻が正しくないことを知らせる時刻合わせ告知機能が働いていることを示します。

■表示切り替え

この時計の主な表示機能として時刻のほかにも日付け、アラーム、クロノグラフなどがあります。



現在時刻を時、分、秒、24時間針で表示。24時間針は午前/午後の識別にご利用ください。

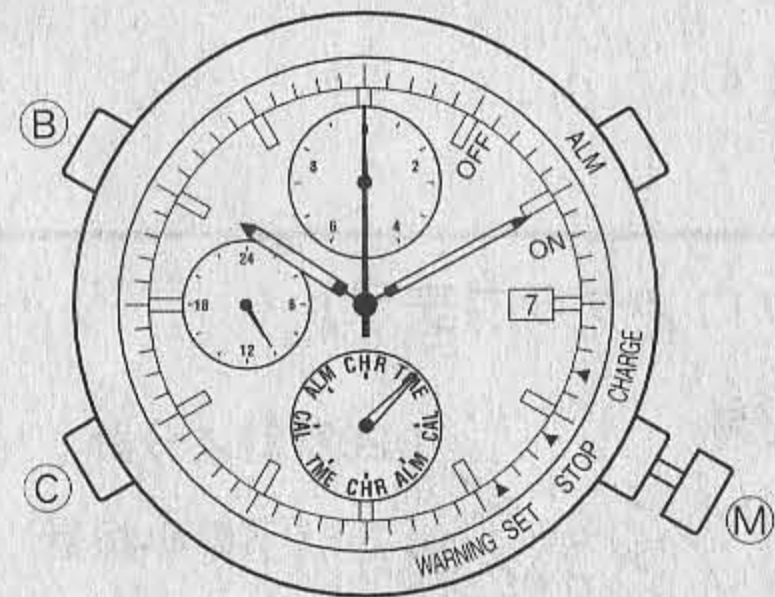
現在月日を、秒針が月、日板が日を表示。機能針が4回転すると、日付が1日分修正されます。

Ⓜボタンを押す毎に表示が、時刻〈TME〉→月日〈CAL〉→アラーム〈ALM〉→クロノグラフ〈CHR〉と切り替わります。モード針で切り替わりを確認してください。
その後は再び時刻〈TME〉表示に戻り繰り返します。

アラームセット時刻を表示。アラームは1分単位のセットです。24時間針で午前/午後にご注意ください。アラームをONにしておくと1日1回セット時刻になるとアラームが15秒間鳴ります。

1/20秒単位で最大60分まで計測しスプリットタイムも表示。スタート/ストップ時やスプリット計測時には確認音がなります。

■時刻合わせ



モード針が〈TME〉を指して時刻モードであることを確認します。

1. ④ボタンを1段引きします。秒針が0秒位置で停止します。

* 万一秒針が0秒位置に停止しないときは
30ページ“0位置修正”を参照して0位置
修正してください

この時計の時刻修正はボタン操作による
電磁修正です。

分針→時針→24時間針と連動して時刻修
正します。

時針を合わせるときは24時間針の位置（午前／午後）に注意してください。

2. 時刻修正は④又は⑤ボタンを押して修正します

④ボタンを一回押す毎に・・・時計方向に1分ずつの修正ができます。

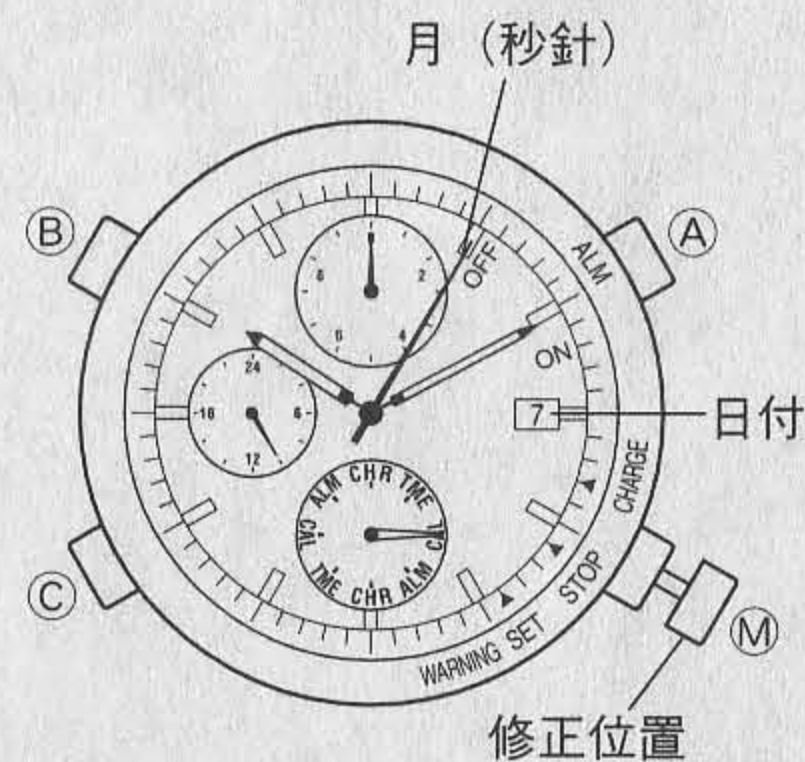
⑤ボタンを一回押す毎に・・・反時計方向に1分ずつの修正ができます。

④、⑤ボタンともに押し続けると早運針します。

いずれか近い方向に針を回して時刻を修正します。

3. 時報などに合わせて④ボタンを通常位置に戻すと正しい時刻で時計はスタートします。

■カレンダーの合わせ方



モード針が〈CAL〉を指してカレンダーモードであることを確認します。

1. (M) ボタンを1段引きします。
2. (A) ボタンを押して月を修正します。

(A) ボタンを1回押す毎に、+1月の修正ができます。

月表示 (秒針) は正時の位置をそのまま月として読み取ります。

(例、1時位置→1月、3時位置→3月)

(A) ボタンは押し続けると早修正できます。

3. (B) ボタンを押して日付を修正します。

(B) ボタンを1回押す毎に、+1日ずつの修正ができます。

(機能針が4回転すると、日付が1日分修正されます。)

(B) ボタンを押し続けると早修正ができます。

4. (M) ボタンを通常位置に押し込みます。

☆日付と機能針は連動していますので、日付修正の際、機能針も同時に回転します。

☆毎月末の日付修正は不要です。但し、2月は28日周りのため、うるう年の2月のみ修正が必要です。

【うるう年の修正方法】

1. (M) ボタンを押して〈CAL〉モードにします。

2. (M) ボタンを1段引きします。

3. (C) ボタンを2秒以上押してうるう年をセット／解除します。

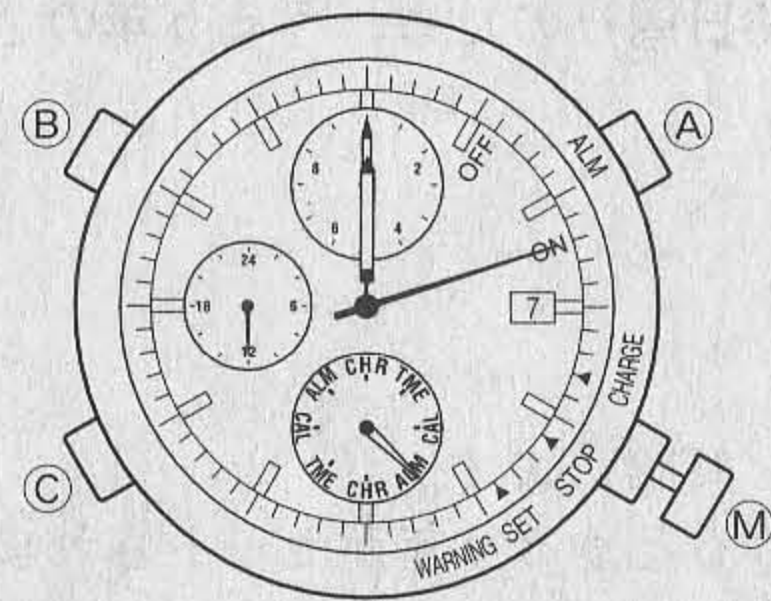
・3月1日を表示している時に(C) ボタンを押し続けるとうるう年がセットされます。

・2月29日を表示している時に(C) ボタンを押し続けるとうるう年が解除されます。

4. (M) ボタンを通常位置に押し込みます。

☆うるう年は1度セットすると4年に1度2月29日を表示します。

■アラームの使い方



アラームは1日1回アラームセット時刻になるとアラーム音が15秒間鳴ります。

鳴っているアラームを止めたいときは、(A)、(B)、(C)のいずれかのボタンを押せば鳴り止めます。

【アラーム時刻のセット】

アラームのセットは24時間制です。1分単位のセットができます。

針は分→時→24時間針と連動しています。

1. (M)ボタンを押してモード針を〈ALM〉に合わせてアラーム表示にします。

2. (M)ボタンを1段引きしてアラームセット時刻修正状態にします。

3. (B)または(C)ボタンを押して時、分、24時間針をセットしたい時刻に合わせます。

・(B)ボタンを1回押す毎に・・・時計方向に1分単位のセットができます。

・(C)ボタンを1回押す毎に・・・反時計方向に1分単位のセットができます。

* (B)、(C)ボタンともに押し続けると早運針します。

アラーム時刻合わせができたなら(M)ボタンを押します。

時・分・24時間針が自動的に早回転して現在位置に戻ります。

万一、時・分・24時間針が回転し続けて止まらない場合は、再び(M)ボタンを押してください。

【アラームのON/OFF切り替え】

アラームセット時刻修正状態において(A)ボタンを押す毎にアラームのON/OFF切り替えができます。

【アラーム音モニター】

アラーム表示において(M)ボタンは通常位置) (A)ボタンを押し続けるとアラーム音が5秒間鳴ります。

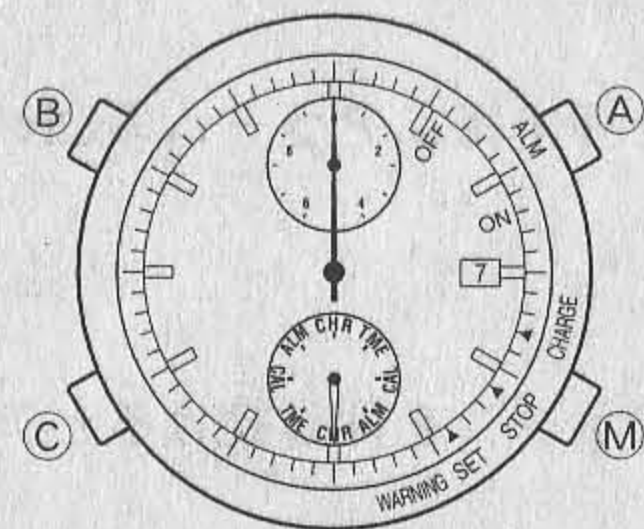
【注意】

- ・二次電池にどの位充電されているかによって多少アラーム音の大きさに違いが生じる場合があります。
 - ・時刻表示以外の表示(カレンダー、アラーム、クロノグラフ、0位置確認、および各表示の修正状態)ではアラーム音が多少小さくなります。
- アラーム時刻のセットができたなら、通常は時刻<TME>表示でお使いください。

■クロノグラフの使い方

クロノグラフ計測は1/20 (0.05) 秒単位で最大60分まで計測できます。その後はクロノリセット状態になります。

<クロノリセット>



【クロノグラフ計測針の見方】

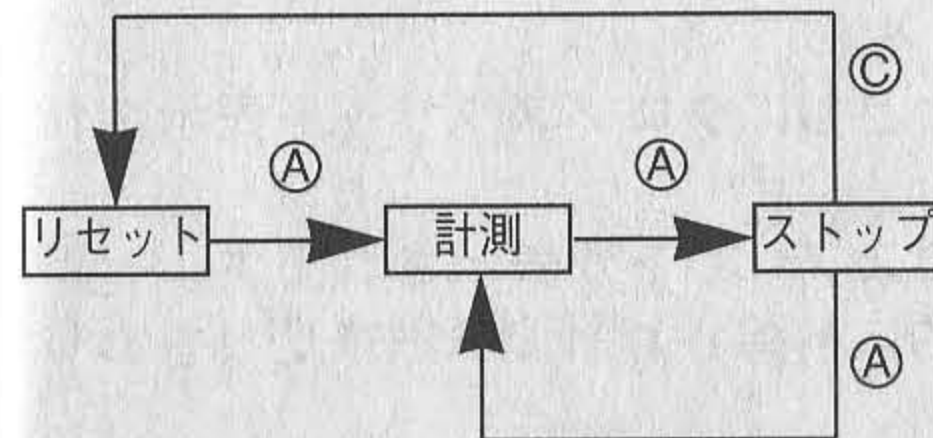
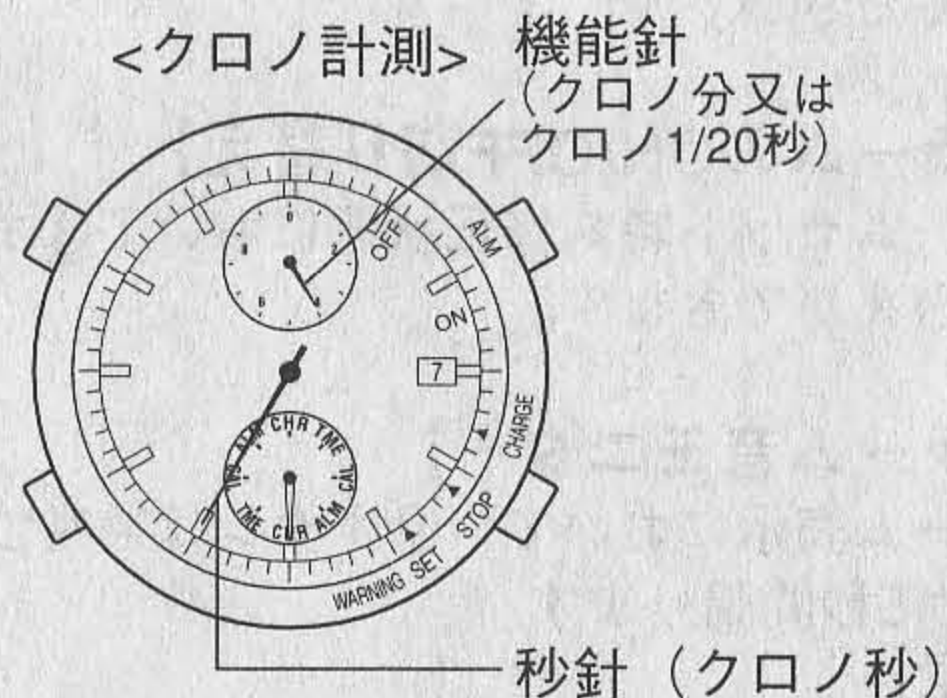
・機能針；クロノ分又は、クロノ1/20秒

＊機能針は1分毎に運針します。

クロノストップ状態又はスプリット表示中に③ボタンを押すと押している間クロノ1/20秒表示に切り替わります。

・秒針；クロノ秒針

<クロノ計測>



①ボタンを押す毎に計測／ストップをくり返します。

【クロノグラフ計測】

[クロノグラフ単純又は積算計測]

1. ③ボタンを押してモード針を<CHR>に合わせクロノグラフ表示にします。

この時、秒針と機能針が0位置へ早送りされます。

＊時、分、24時間針は現在時刻を示します。

2. ①ボタンを押す毎に確認音とともにクロノスタート/ストップをくり返します。

クロノストップ時のクロノ各針の読み取り方

① 機能針で何分かを読み取る

② 秒針で何秒かを読み取る

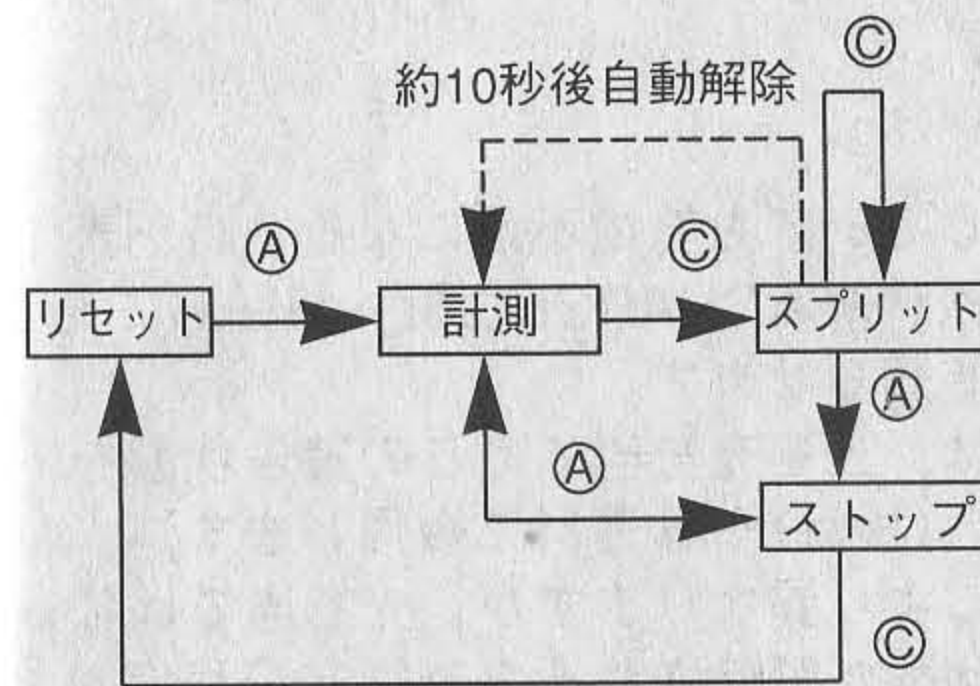
③ ③ボタンを押している間機能針が1/20 (0.05) 秒針に切り替わりますのでそのときの値を読み取ります。

③ボタンを離すと再び機能針はクロノ分を示します。

3. クロノストップ状態で③ボタンを押すと機能針、秒針は0位置にリセットされます。

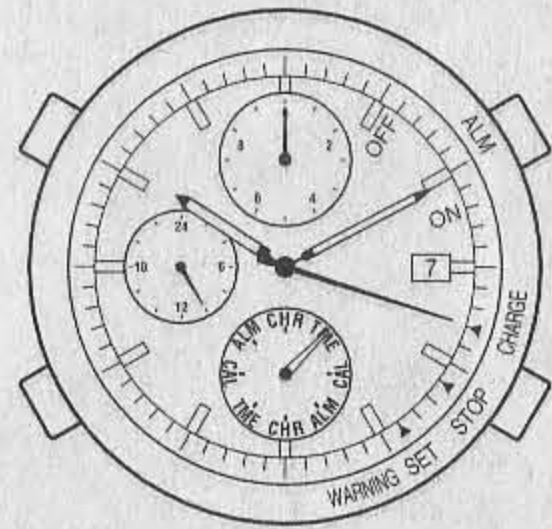
【クロノスプリット計測】

1. クロノ計測中に◎ボタンを押すと確認音とともにクロノスプリット表示されます。
 2. 再び◎ボタンを押すと確認音とともに次のスプリットが表示されます。
なおスプリット表示は約10秒後には自動的に解除され計測状態に切り替わります。
スプリット表示中はⒷボタンを押している間機能針が1/20 (0.05) 秒表示となります。
- ・ クロノスプリット表示又は計測中にⒶボタンを押すとクロノストップ表示になります。
 - ・ クロノストップ表示のときに◎ボタンを押すとクロノリセットされます。



* スプリットタイムは計測中又はスプリット表示中に◎ボタンを押す毎に次のスプリットタイムを表示します。

■このような場合には 充電警告表示になったら

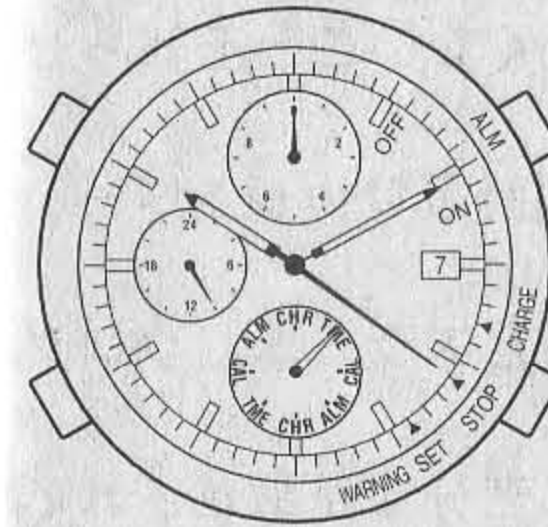


時計がどの表示をしていても充電不足になると時刻表示に切り替わり、秒針が▲CHARGE位置へ移動して充電不足であることを知らせます。

このような場合には、光を充分当ててこの警告状態を解除してください。(秒針が1秒運針に復帰します)

光の種類(光源)により異なりますが、光を当てはじめてからこの警告状態が解除されるまで約30分程度かかります。

停止警告表示になったら

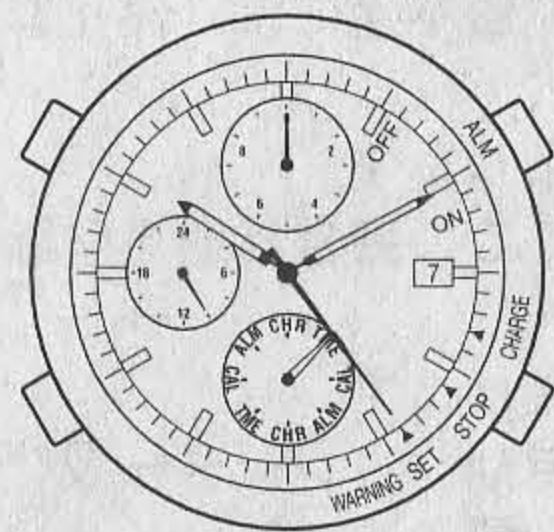


充電不足状態をさらに放置しておくと約5日後には秒針が▲STOP位置へ移動して時計が充電不足により停止していることを知らせます。

*この状態ではすべての機能が停止します。
このような場合には光を充分当ててこの警告状態を解除してください。

光を当てると、時刻合わせ告知になります。
また十分な充電を行った後には、時刻、カレンダー及びアラームセット時刻の再セットが必要です。

時刻合わせ告知表示になったら



1度停止した時計に再び光りを当てて充電していくと秒針が▲SET位置に移動し時刻が正しくないことを知らせます。

このような場合には時、分、24時間針及びカレンダー、アラーム時刻を合わせ直してください。

この時刻修正と十分な充電をしないとアラーム、クロノグラフなど他の機能が作動しません。

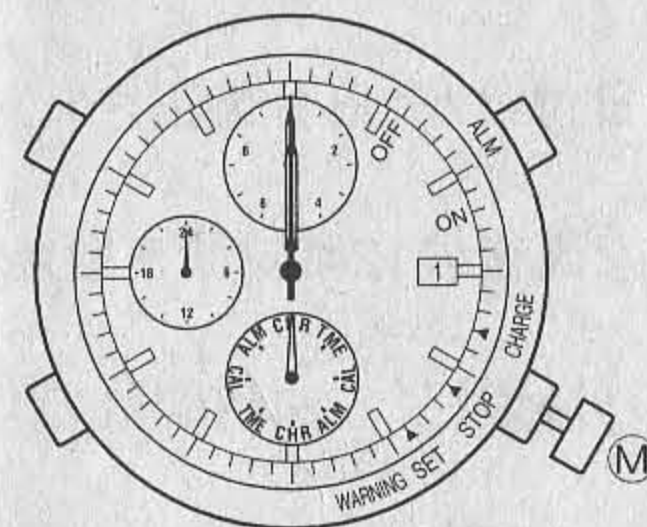
*時刻合わせ告知表示状態のときに十分な充電がされていない場合は光をさえぎると秒針が▲STOP位置に切り替わり、時計は停止してしまいますのでご注意ください。

■各針の0位置確認と修正

静電気の影響や強い衝撃等により時計の表示が狂うことがあります。

このような場合には次の各針の0位置確認の上修正をします。

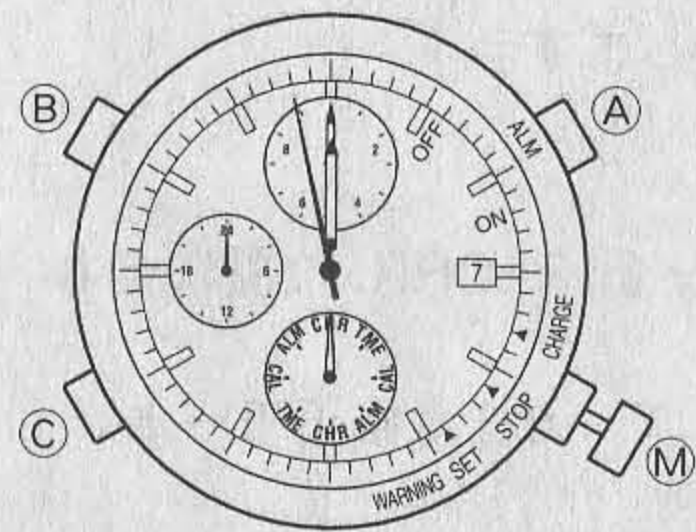
[0位置確認]



1. ①ボタンを押してモード針を<CHR>位置に合わせます。
2. ②ボタンを1段引きにして、0位置修正モードにします。

このとき、時、分、秒針、24時間針、機能針が0位置（12時間位置）へ早送りされるか、日付が早送りされ“1”を表示しているか確認します。各針及び、日付が上記以外のときは[0位置修正]が必要です。

[0位置修正]



1. ①ボタンを1段引きにして、0位置修正モードにします。
2. 各針の0位置修正をします。

①ボタンを押すと秒針の修正ができます。

②ボタンを押すと、機能針と日付けの修正ができます。

・機能針が4回転すると日付けが1日分修正されます。

日付けが“1”に変わった直後の12時位置が機能針の0位置です。

③ボタンを押すと、時、分針及び、24時間針の修正ができます。

＊各ボタンとも押し続ければ早送りします。

3. 0位置修正をしたら①ボタンを通常位置へ戻せばこの操作は完了です。

＊0位置修正が完了したら時刻、日付け、アラームセット時刻を合わせ直してください。

■二次電池の交換について

この時計に使われている二次電池は充電、放電を繰り返し行えるため、一般電池のような定期的な電池交換の必要はありません。

■お取り扱いにあたって

⚠ 警告 防水性能について

- 時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、
下図を参照して正しくご使用ください。

(1 bar は約 1 気圧に相当します)

名称	表示		仕様	水がかかる程度の使用。 (洗顔、雨など)
	文字板	ケース(裏ぶた)		
日常生活用 防水時計	無表示	WATER RESIST(ANT)	3気圧防水	○
日常生活用 強化防水時計	WATER RESIST 5 bar または無表示	WATER RESIST(ANT) 5 bar または WATER RESIST(ANT)	5気圧防水	○
日常生活用 強化防水時計	WATER RESIST 10/20 bar または無表示	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar または WATER RESIST(ANT)	10気圧防水 20気圧防水	○

使用例

			
水仕事や、一般水泳 に使用。	スキューバダイビング、 マリンスポーツに 使用。	空気ボンベを使用 するスキューバ 潜水に使用。	水滴がついた 状態での ボタンの操作。
×	×	×	×
○	×	×	×
○	○	×	×

*WATER RESIST(ANT)××bar は W.R.××bar と表示している場合があります。 33

- ・日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンドIVING）などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りなどには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

⚠ 注意

- ・水分のついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
 - ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。
- 水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
- ・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
 - ・万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内部にくもりが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社サービスセンターへ修理、点検を依頼してください。
 - ・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、ボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
かぶれの原因は
 1. 金属、皮革アレルギー
 2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- ・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

＜時計のお手入れ方法＞

- ・ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- ・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。

- ・金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- ・溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

⚠ 注意 携帯時の注意

- ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。

⚠ 注意 バンドのお取り扱いについて（着脱時の注意）

- ・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

＜ナチュライトについて＞

- ・「ナチュライト」は、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な蓄光性の物質を使用した夜光塗料です。ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。（例：500Lux以上で約10分以上光に当たると、約3～5時間程度発光します。）

ただし、蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。また、光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。なお、ナチュライトを使用している時計は、文字板面下部にN-JAPAN-Nと印刷されています。

＜温度について＞

- ・ -10°C ～ $+60^{\circ}\text{C}$ から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。

＜磁気について＞

- ・磁石には近づけないでください。磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻きなど）、冷蔵庫のマグネットドア・バッグの止め具、携帯電話のイヤホン部など、磁気に近づけると時刻が狂います。この場合は磁気から離して時刻修正をし直してください。

＜静電気について＞

- ・クオーツウオッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示が狂うことがありますのでご注意ください。

＜ショックについて＞

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀にふれたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

＜保管について＞

- ・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

■保証とアフターサービスについて

1. 保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

2. 修理用部品の保有期間について

当社は、時計の機能の維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

3. 修理可能期間について

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. ご転居・ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社サービスセンターにご相談ください。

5. 定期点検について

安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度の定期点検をおこなってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく、他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社サービスセンターにご相談ください。

6. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、弊社サービスセンターにご相談ください。

■製品仕様

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 型式 | アナログ多針ソーラーパワーウォッチ |
| 2. 機種 | 0870、0875 |
| 3. 時間精度 | 平均月差±20秒（常温 5°C～35°C 携帯時） |
| 4. 作動温度範囲 | -10°C～+60°C |
| 5. 表示機能：時刻 | 時、分、秒、24時間針 |
| カレンダー | 月、日 |
| アラーム | 時、分、24時間針、アラーム ON/OFF |
| クロノグラフ | 分、秒、1/20 (0.05) 秒針 |
| 6. 付加機能：アラーム | デイリーアラーム（1回の鳴り時間約 15 秒） |
| アラームモニター | （1回の鳴り時間約 5 秒） |
| クロノグラフ | 1/20 秒単位、最大 60分計測（スタート／ストップ／スプリットのボタン操作時に確認音有り） |
| 充電不足警告機能／停止警告機能／時刻合わせ告知機能／過充電防止機能 | |
| 7. 使用二次電池 | 二次電池 |
| 8. 持続時間 | フル充電～止まり：約 80日 |
| | 2 秒運針～止まり：約 5日 |

*仕様は、改良のため予告なく変更する事があります。